

県立広島大学大学院総合学術研究科における大学院生の教育研究環境に関するアンケート調査報告（平成29年度実施）

実施期間 平成29年12月～平成30年1月

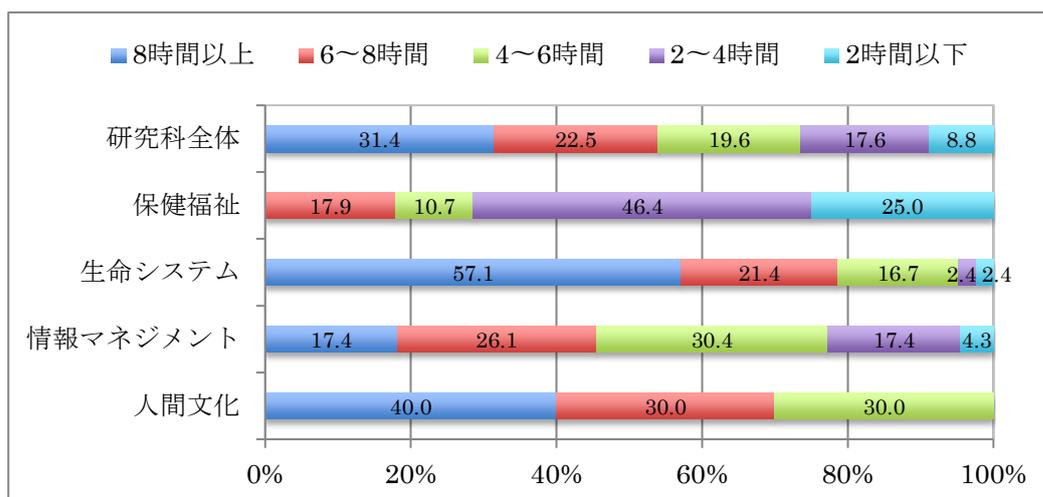
アンケート配布数：146名（保健福祉学専攻 58名，情報マネジメント専攻 23名，人間文化学専攻 23名，生命システム科学専攻 42名），回収数：102名（保健福祉学専攻 28名，情報マネジメント専攻 23名，人間文化学専攻 10名，生命システム科学専攻 42名）

平成29年度アンケート調査では，総計102名（69.9%）の院生が回答した。専攻毎の回収率は，保健福祉学専攻 48.3%，情報マネジメント専攻 100%，人間文化学専攻 43.5%，生命システム科学専攻 100%であった。

【学習・研究・授業に関する質問】

1. あなたは学習や研究に1日あたりどれくらいの時間をあてていますか。

1	8時間以上	2	6～8時間	3	4～6時間	4	2～4時間	5	2時間以下
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------



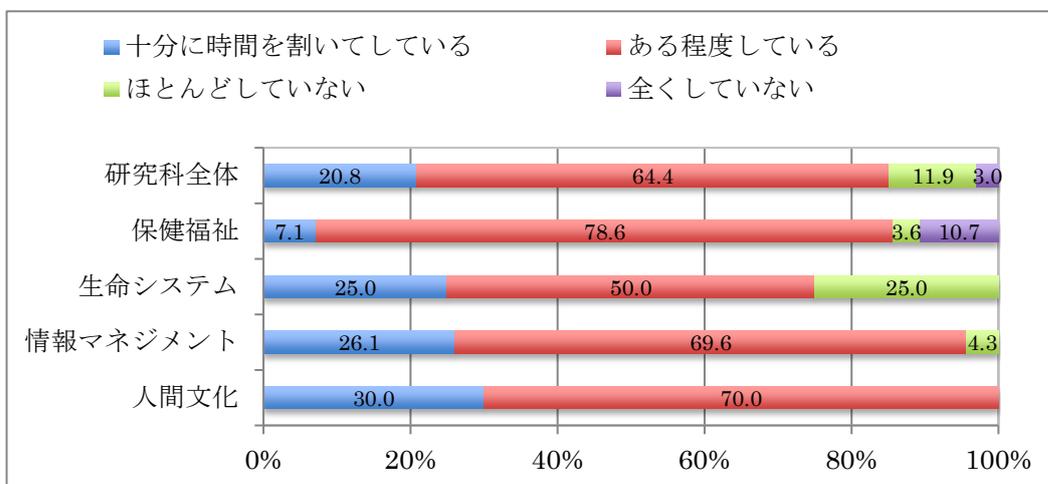
研究科全体では，「2～4時間」，「4～6時間」，「6～8時間」を学習や研究にあてている学生が約20%で分布しており，「8時間以上」が30%となっている。専攻の特性により分布が異なっている。

保健福祉学専攻など社会人の多い専攻では，1日あたりの学習や研究にあてる時間が少なくなっているが，長期履修制度の活用により，計画的に教育課程を履修し，研究時間を確保している。

一方で，社会人が少ない生命システム科学専攻では「6～8時間」，「8時間以上」が78.5%である。

2. 履修している授業のために、授業時間以外の学習（予習や復習等）をよくしていますか。

1	十分にしている	2	ある程度している	3	ほとんどしていない	4	全くしていない
---	---------	---	----------	---	-----------	---	---------

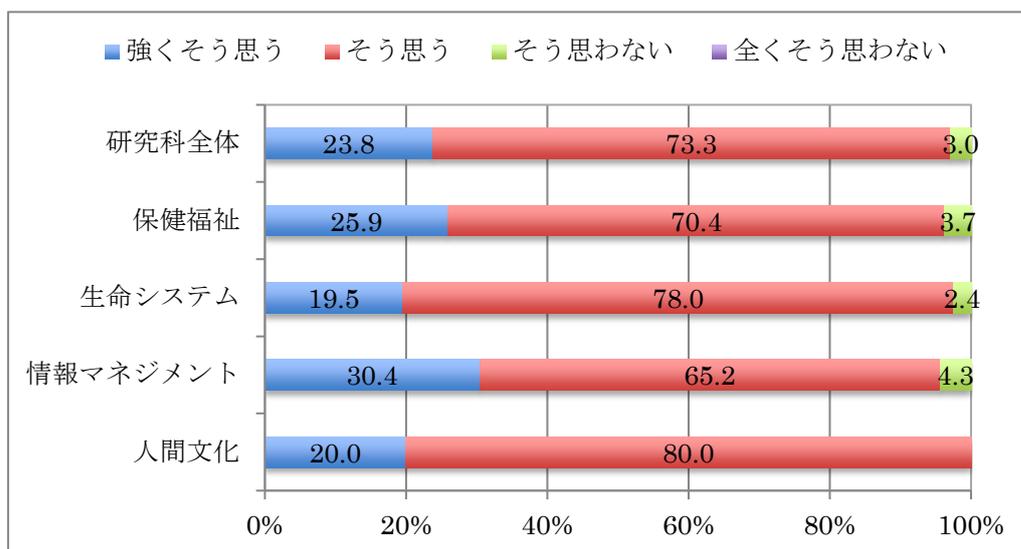


研究科全体で肯定的な回答は85%であった。

生命システム科学専攻において、1/4 が授業時間以外の学習を「ほとんどしていない」となっている。研究が主体となっている結果と思われるので、教員は課題を出すなどの工夫が必要と考える。

3. あなたが履修した、又は履修している講義は、目標が明確で体系的に行われている。

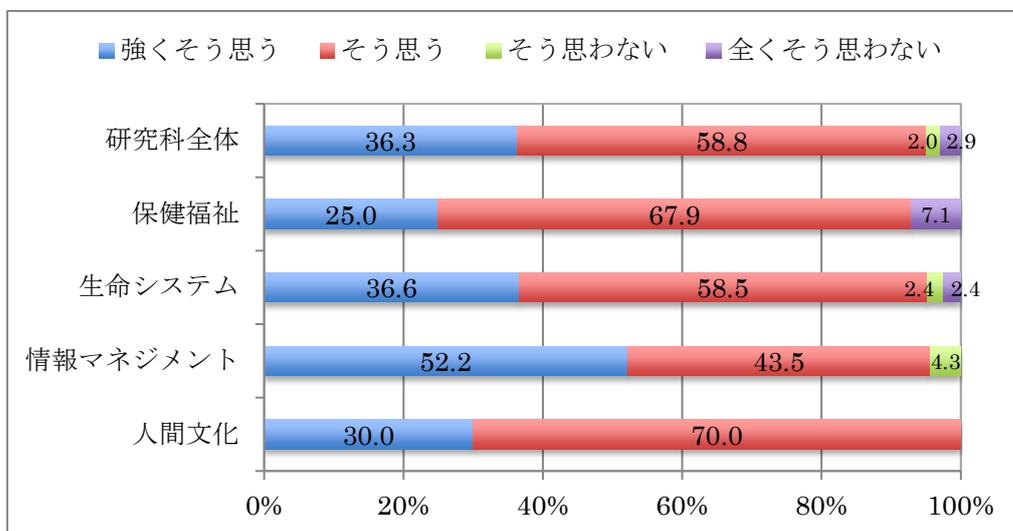
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体及びすべての専攻でも、「強くそう思う」、「そう思う」と回答した割合は95%以上であり、講義の目標は明確で、体系的と感じている。

4. 教員の講義の準備は十分で、内容は整理されている。

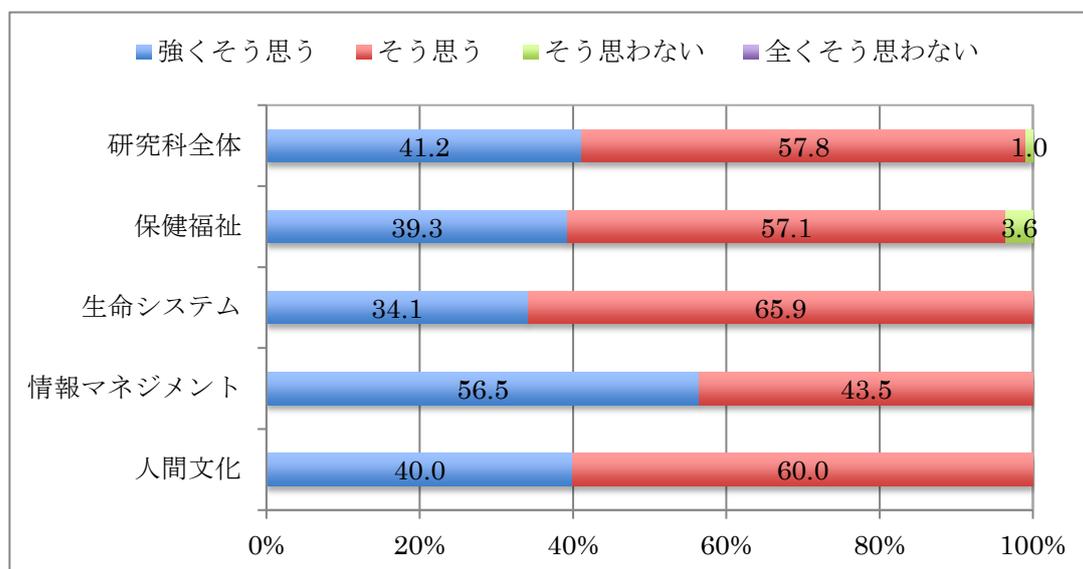
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



いずれの専攻でも肯定的な回答は90%以上となっており、講義に対する教員の準備は十分で、内容は整理されていると回答している。

5. 教員の研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったか。

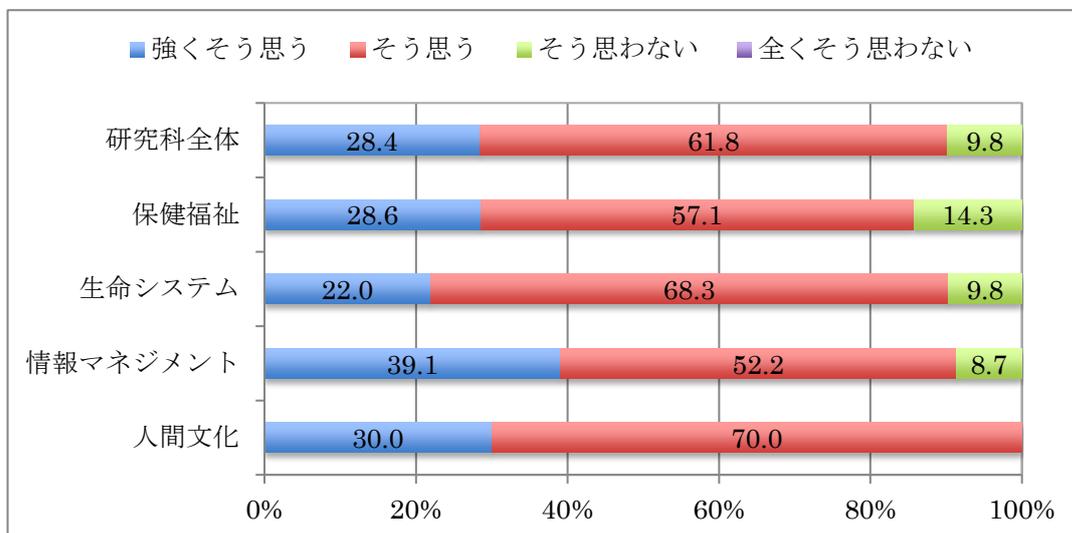
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



いずれの専攻でも肯定的な回答は95%以上となっており、研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったかの質問に対して「強くそう思う」または「そう思う」と回答している。

6. 授業内容は大学院の講義として適切であるか。

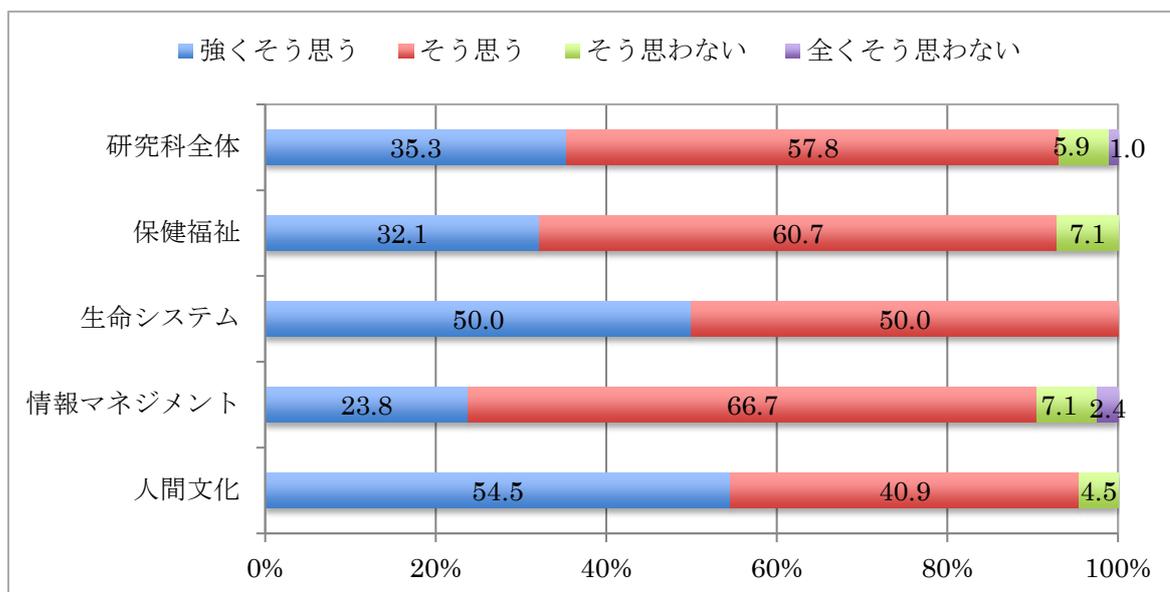
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、肯定的な回答は90%以上となっている。
保健福祉学専攻では、全体に比べて5%程度少ない値となっている。

7. 教員の熱意が感じられたか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

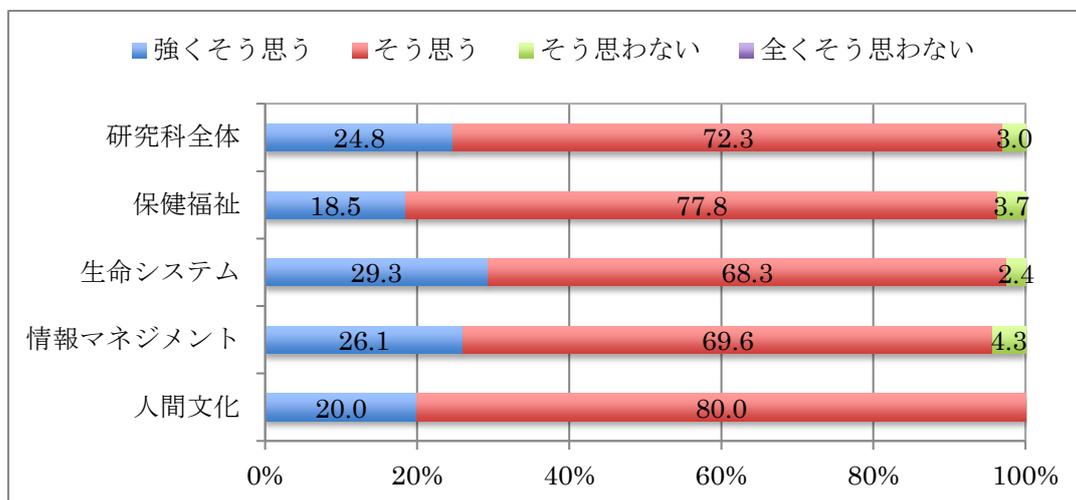


いずれの専攻でも、肯定的な回答は90%以上となっており、全体として教員の取り組み姿勢は評価されている。

【成績評価に関する質問】

8. 授業の成績評価は適切に行われているか。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

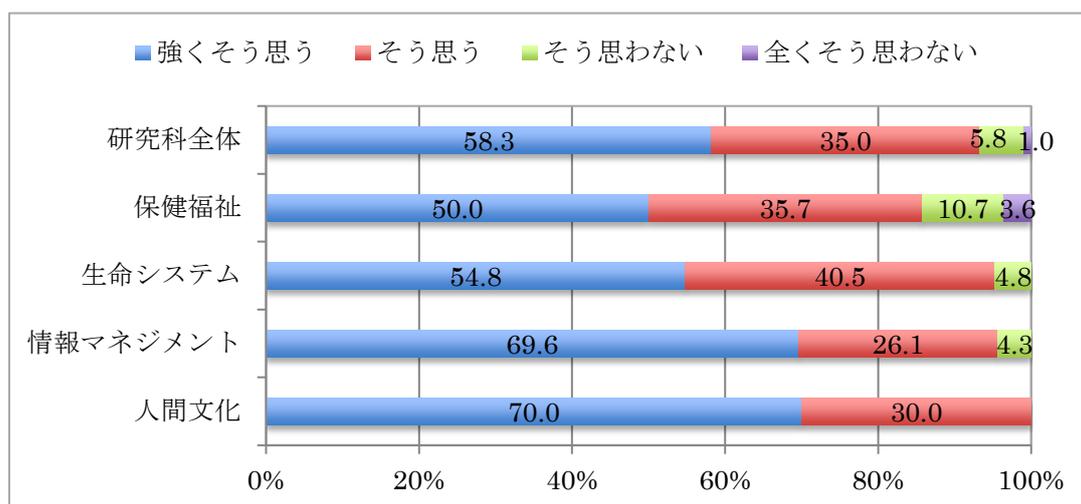


研究科全体では、肯定的な回答は97%であり、授業の成績評価は概ね適切に行われている。

【研究指導に関する質問】

9. 専攻での研究指導は適切に行われている

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

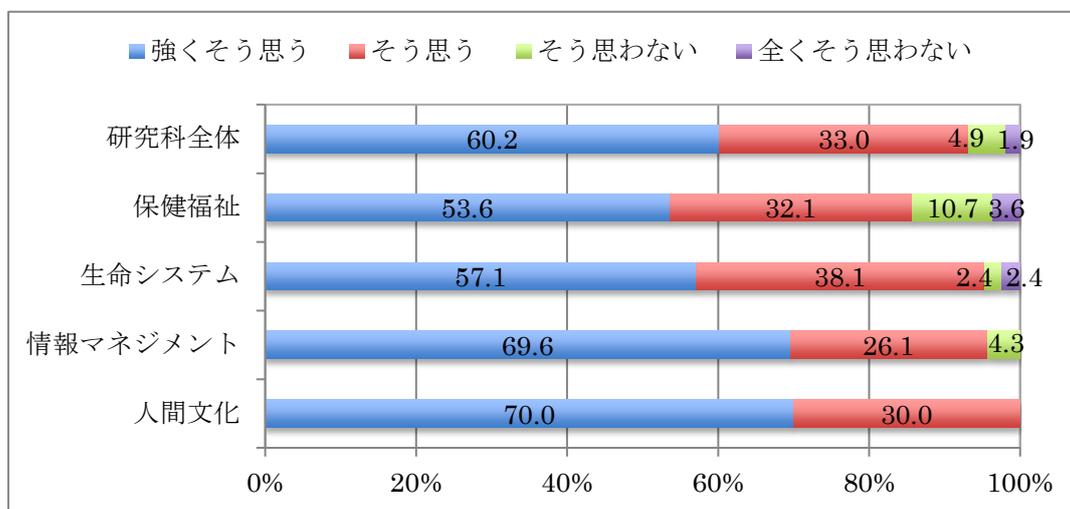


研究科全体では、91%が満足しており今後も維持していくことが望まれる。

保健福祉学専攻では、14%の学生が「そう思わない」、「全く思わない」と回答しており研究指導に対する対策が必要である。

10. 現在取り組んでいるテーマに満足しているか。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

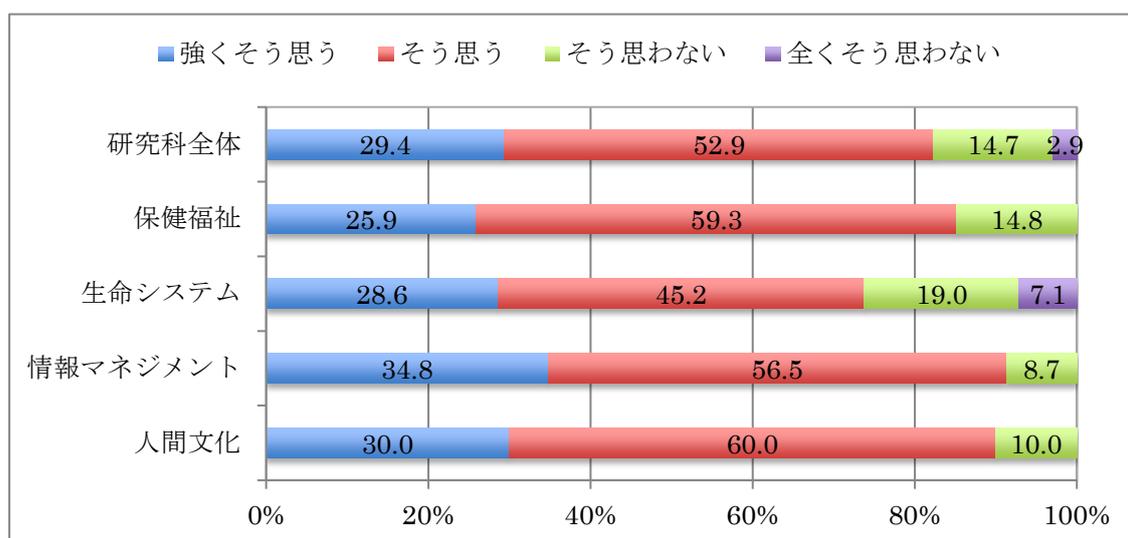


研究科全体では、93%が満足しており、今後も維持していくことが望まれる。
保健福祉学専攻では、14%の学生が「そう思わない」、「全く思わない」と回答している。

【研究環境に対する質問】

11. あなたの研究環境(実験室)は、質・量ともに良好である。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

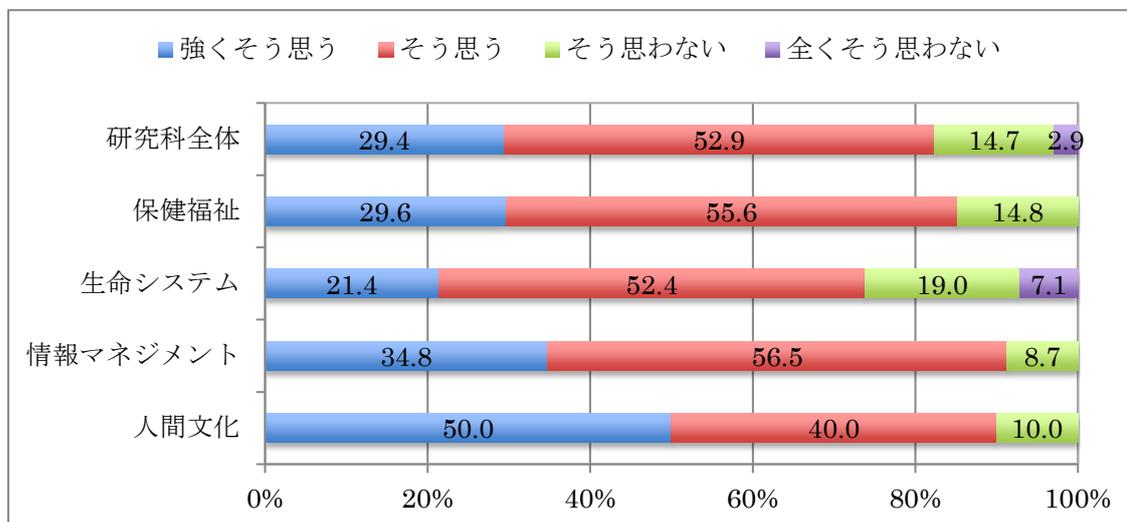


研究科全体では、肯定的な回答は82%である。生命システム科学専攻では、26%の学生が「そう思わない」、「全く思わない」と回答している。学部卒論生・修士学生・博士学生と配属学生の多い研究室があるため改善の難しい面があるが、実験室の環境改善について検討を行う必要がある。

人間文化学専攻では、この項目に該当しない(実験のない)言語文化・社会文化の各研究分野があるため「そう思わない」と回答した可能性がある。

12. あなたの研究環境(実験機器)は、質・量ともに良好である。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

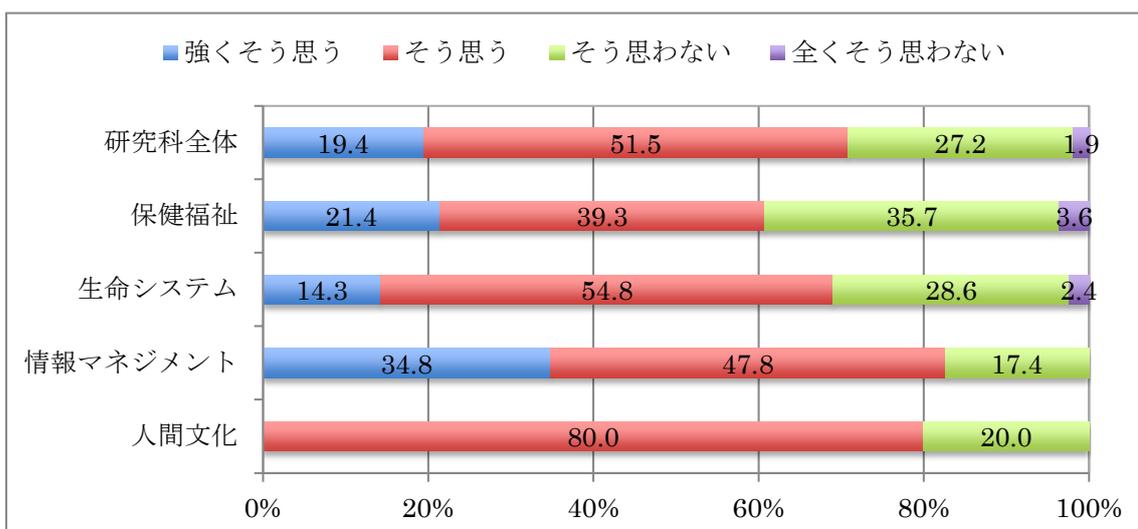


研究科全体では、肯定的な回答は82.3%ある。人間文化学専攻では、この項目に該当しない(実験のない)言語文化・社会文化の各研究分野があるため「そう思わない」と回答した可能性がある。

生命システム科学専攻では、「そう思わない」、「全く思わない」との回答が26%あり、実験機器について、計画的に整備を検討する必要がある。

13. あなたの研究環境(図書)は、質・量ともに良好である。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

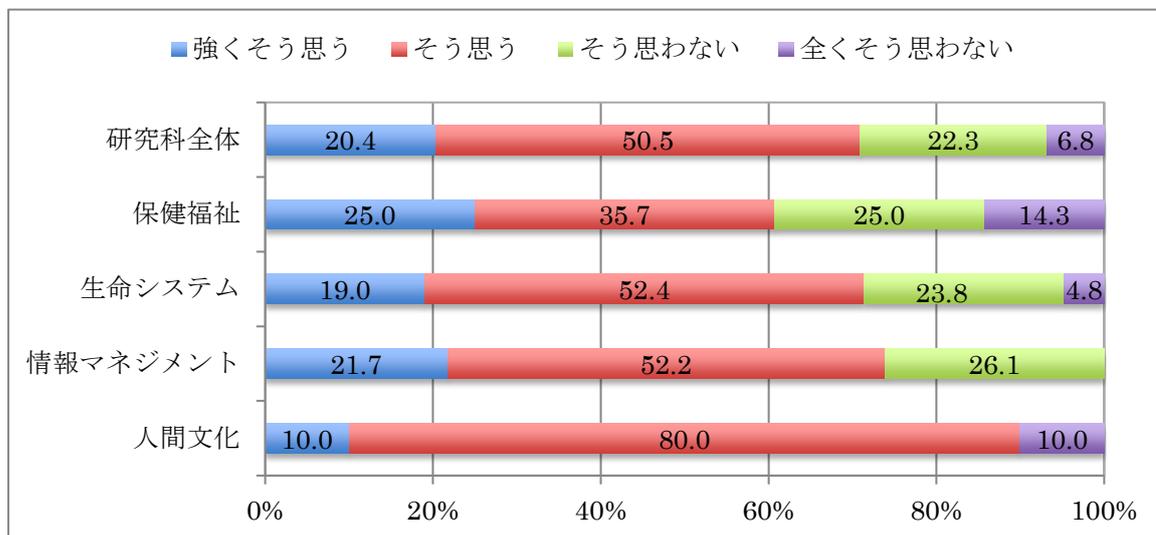


研究科全体では、肯定的な回答は72%であり、学生の要望について検討する必要がある。

生命環境システム科学専攻では31%、保健福祉学専攻では39%が「そう思わない」、「全く思わない」となっており、全体に比べて満足度がやや低くなっている。

14. あなたの研究環境(コンピューター)は、質・量ともに良好である。

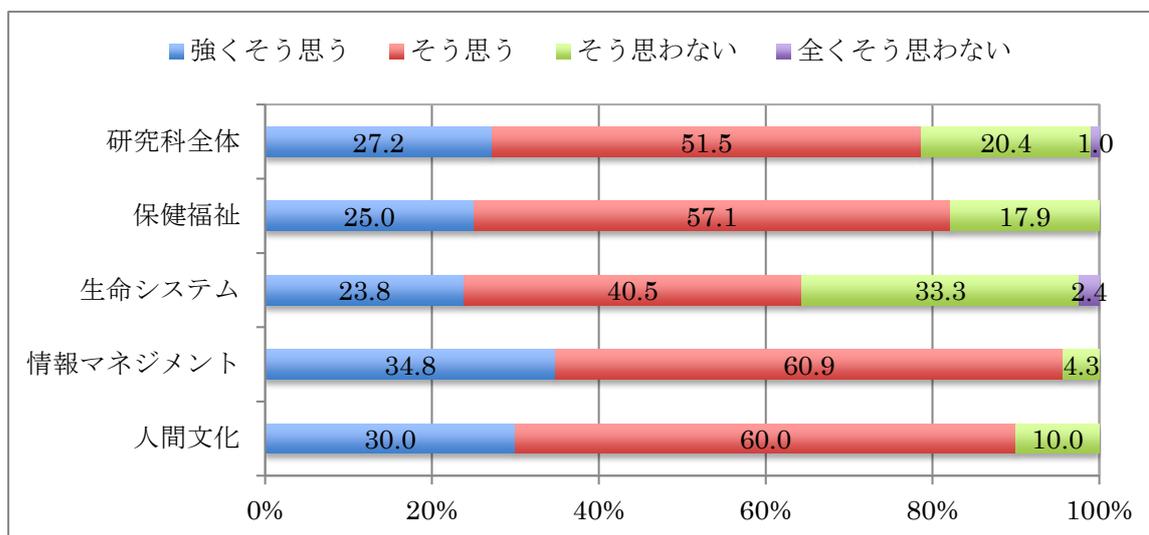
1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、肯定的な回答 71%である。保健福祉学専攻では全体に比べて 15%低い値となっており、学生の要望について検討する必要がある。

15. あなたが使用できる大学院生として研究用スペースが適切に備わっている

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

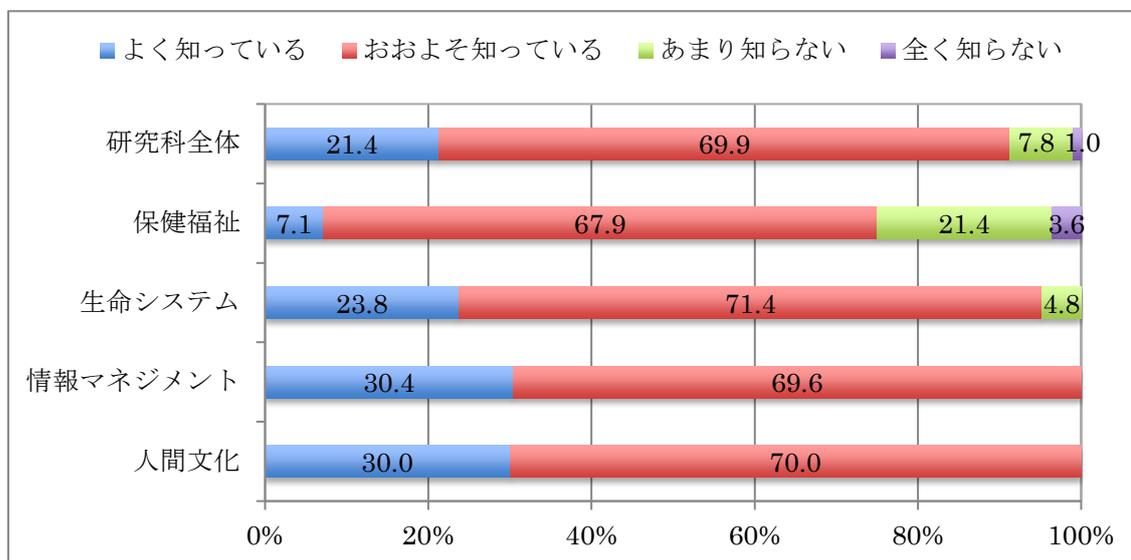


研究科全体では、肯定的な回答は 79%である。生命システム科学専攻では、全体に比べて 14%低い値となっている。配属学生の多い研究室については、十分なスペースを確保できない場合があることが課題となっており、検討を行う必要がある。

【学位取得に関する理解に関する質問】

16. あなたは、在籍する課程において、学位を取得するためには、どのような前提条件を満たさなければならないか研究科や専攻の規則や規程をどの程度知っていますか。

1	よく知っている	2	おおよそ知っている	3	あまり知らない	4	全く知らない
---	---------	---	-----------	---	---------	---	--------



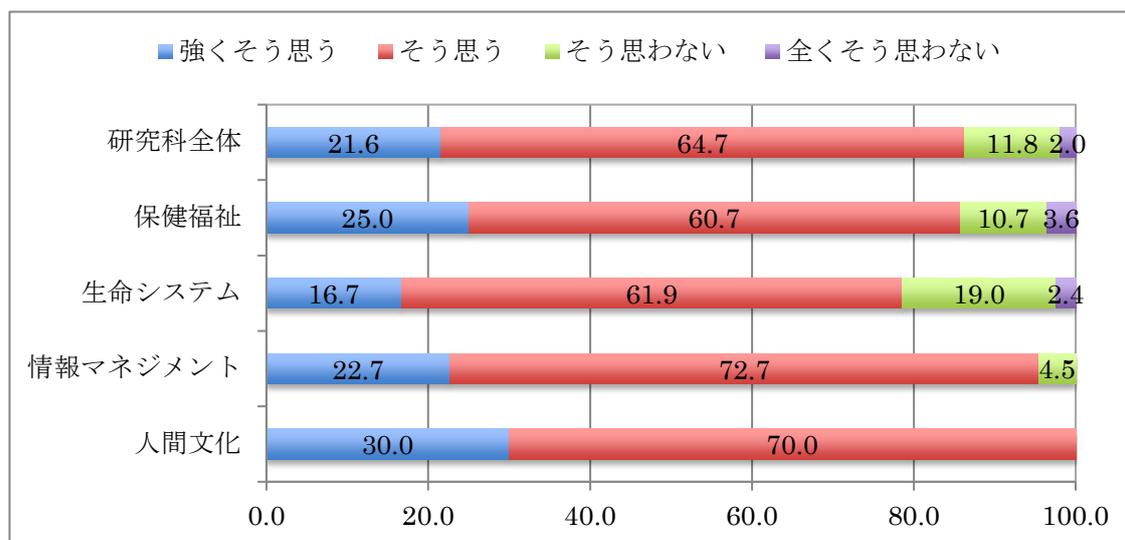
研究科全体では、肯定的な回答は91%であり概ね周知はされている。保健福祉学専攻においては「あまり知らない」、「知らない」との回答が25%にあり、周知の方法を検討する必要がある。

各専攻における「学位論文審査及び最終試験実施要領」及び「学位論文に係る評価基準」については、平成29年10月に整備を行い、本学ウェブサイト公開している。

【大学院に対する満足度に関する質問：全体と修了予定の院生】

17. あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している(全体)

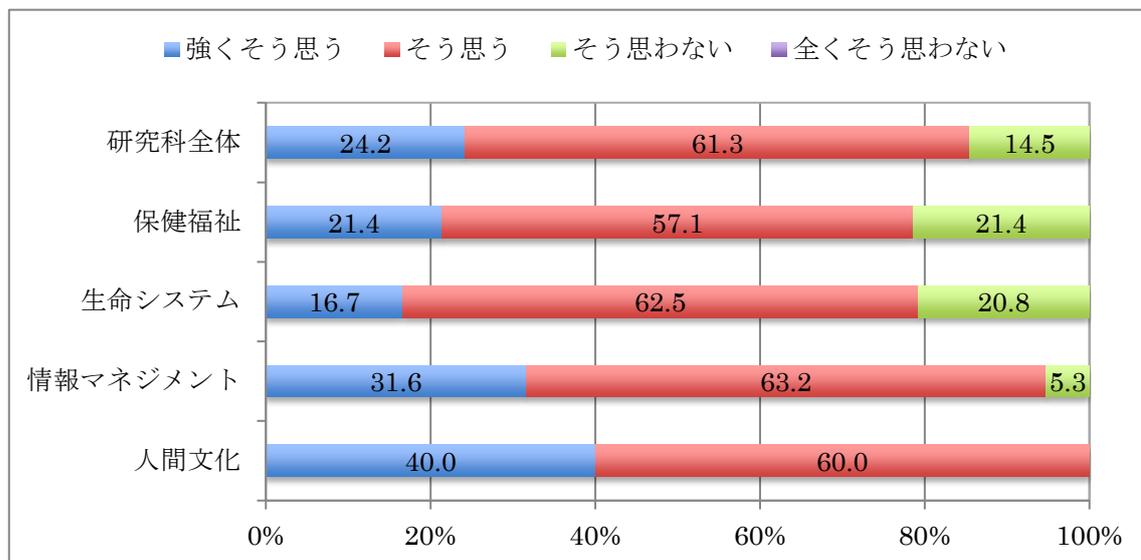
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、肯定的な回答は86%である。生命システム科学専攻では、全体に比べて8%低い値となっており、学生の要望を把握し、改善策を検討する必要がある。

18. 本年度修了予定の院生のみになります。総合的に判断して、この大学院に満足していますか。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



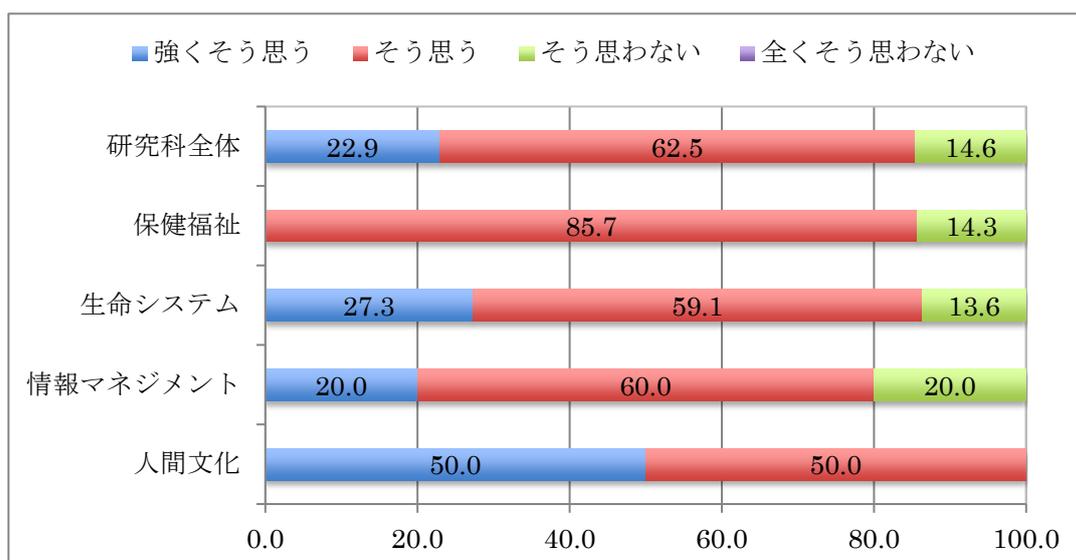
研究科全体では、肯定的な回答は85%である。保健福祉学専攻・生命システム科学専攻では、全体に比べて7%低い。保健福祉専攻は昨年度より8%肯定的な回答が増加している。生命システム科学専攻は4%肯定的な回答が減少した。

また、人間文化学専攻でも、7%満足度が増加した。

【修了予定院生の就職に対する満足度に関する質問】

19. 本年度に修了予定の院生に聞きます。内定した就職について満足していますか。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、85%が肯定的な回答である。人間文化学専攻では満足度が高く、情報マネジメント専攻では全体と比べ5%低くなっている。